

行 政 報 告

第2回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、平成29年度各会計の出納閉鎖による決算見込みについて申し上げます。

一般会計は、1億3,134万2千円の繰越しとなりました。

歳入は、明許繰越分を除いた予算に対して3,613万5千円の増で、町税が予算に対し2,063万6千円の増となり、歳出の実質の不用額は、9,520万7千円であります。

後期高齢者医療特別会計は、13万7千円の繰越しとなりました。

国民健康保険特別会計は、6,402万9千円の赤字となりました。平成29年度の赤字は、平成30年度の歳入を繰り上げて補てんすることとなるため、5月31日付けで平成30年度補正予算を専決処分いたしました。

また、療養給付費等負担金等は、翌年度において精算されることから、精算額が確定次第、議会へ補正予算を提案いたします。

介護保険特別会計は、3,484万4千円の繰越しとなりました。

繰越しとなった主な要因は、介護保険給付費などの減によるものであります。なお、介護保険給付費に係る交付金等は、給付費の割合で交付されるもので、平成30年度に精算されることから、精算額が確定次第、議会へ補正予算を提案いたします。

公共下水道事業特別会計は、経費の節減に努める中、各支出科目の不用額の発生等により、711万4千円の繰越しとなりました。

ガス事業会計は、年間ガス販売量が前年度対比4万6千立方メートル増の22万4千立方メートルとなり、ガス売上は1,465万7千円の増収となりました。

事業収支では、ガス販売量の増や経費の節減等により、409万3千円の当年度純利益となり、前年度繰越欠損金3億9,388万7千円から当年度純利益を差し引きしますと、当年度未処理欠損金は3億8,979万4千円となります。

水道事業会計は、年間給水量が前年度対比4千立方メートル減の60万1千立方メートルとなり、給水収益は175万円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減等により851万2千円の当年度純利益となり、前年度繰越欠損金はありませんので、当年度未処分利益剰余金は851万2千円となります。

病院事業会計は、前年度に比較し、入院患者数は19%の増加となり、入院収益では1,688万3千円の増収、外来患者数は5%の減少で、外来収益では631万2千円の減収となりました。

支出では、前年度に比べ医業費用が740万円の増加、医業外費用が451万円の増加となっております。

事業収支では、一般会計から3億円の補助金を繰入れたものの、期末決算では2,739万3千円の当年度純損失となり、この当年度純損失を前年度繰越欠損金3億5,538万5千円に加えますと、当年度未処理欠損金は3億8,277万8千円となります。

なお、各会計の詳細については決算上程の際に関係資料を提出いたします。

次に、ふるさと納税について申し上げます。

長万部町まちづくり基金条例による「ふるさと納税」の平成29年度の寄付状況は、8,153件、1億612万3,324円となり、前年と比べ4,673件、6,577万1,001円の増となりました。

また、平成29年度では、まちづくり基金を取り崩し、各目的別事業の財源として合計1,939万3,844円を充当し、年度末現在の残高状況は1億9,612万1,802円となっております。

今後は返礼品の登録品数を増やすとともに、特産品の全国PRを図りながら、さらなるふるさと納税による寄付の拡大を目指してまいります。

次に、東京理科大学関係について申し上げます。

本町と大学との地方創生連携事業である再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネスプロジェクトにつきましては、植物工場で3月から生産を開始している高糖度トマトが順調に生育・収穫されており、味・糖度共に優れた品質で生産できることが実証されております。

また、長万部産の高糖度トマトとして都市圏のデパートなどでの試食PRを実施し、5月には役場ロビーにて町民向け試食PRも行いましたが、約250人の町民の方々が試食され、果物のように甘くて美味しいとの評判をいただいております。

今後は、ハウスの増設など設備の拡充による生産拡大と、ブランディング・プロモーション、マーケティングにより、販路の確保・拡大を図るための準備が進められているところであります。

引き続き本事業の成功に向け、理科大と連携し取り組んでまいります。

次に、まちづくりアクションプランについて申し上げます。

長万部町まちづくりアクションプランにつきましては、長万部まちづくり推進会議が中心となって取りまとめ作業が進められてまいりましたが、本年3月に策定作業が完了し、3月29日に長万部まちづくり推進会議から町に対しての提言として、アクションプランが提出されたところであります。

このアクションプランは、2030年度末の新幹線開業を見据えて、官民が一体となってまちづくりを進めていくための行動指針であり、長万部町の現状と課題を踏まえ、交通アクセス、まちなみ形成、観光振興の3分野、6プロジェクト、30施策からなり、開業効果を最大限に発揮させるため、周辺自治体とも連携しながら、今年度から開業が見込まれる2030年度まで様々な取り組みを着実に進めてまいります。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

4月に新たに立岩トンネルの豊津工区が発注され、6月現在、町内では3本のトンネル工事が行われております。立岩トンネルのルコツ工区では、本抗へ到達するための横抗の掘削が行われており、4月からは国縫地区において発生土の運搬作業が開始されているところであり、内浦トンネルの静狩工区においても本年末に掘削が開始される予定となっております。これに伴い、5月に静狩地区において工事説明会が開催されたところでもあります。

また、明かり区間についても、鉄道・運輸機構から町に対し新幹線と町道の交差協議が進められており、6月8日、9日には長万部町学習文化センターにおいて、町民向けの北海道新幹線事業説明会が開催されるなど、工事に向けての準備が本格化しつつあります。

町といたしましては、先月には議長とともに鉄道・運輸機構本社などを訪問し、長万部町まちづくりアクションプランの説明と新幹線関連工事の町への委託を要望してきたところであり、今後、ますます本格化する新幹線工事が円滑に行われますよう、関係機関と密接に連携しながら各種取り組みを進めてまいります。

次に、老人福祉関係について申し上げます。

高齢者や心身に重度の障害を持つ方が、社会参加や日常生活の中でタクシーを交通手段の一つとして容易に利用できるよう、料金の一部を助成しておりますタクシーチケットは、4月10日から役場窓口で、13日には国縫・中ノ沢・双葉・静狩の各会館に出向き交付手続きを行いました。5月末までの対象件数は818件で、交付件数は704件、86.1%の交付率であります。

また、9月17日の敬老の日に合わせて、長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、老人福祉センターを9月10日から12日までと14日から17日までの計7日間と、町内にある公衆浴場についても助成を行い、9月11日から17日までの7日間を、それぞれ無料開放する予定であります。

次に、児童福祉関係について申し上げます。

4月2日にさかえ保育所の入所式を行い、今年度の入所児童数は、保育定員60名に対し57名の入所となっておりますが、6月途中に3名が入所し60名となる予定であります。

一時保育事業の4月の利用は、3歳未満児が3名で延べ13日間、小学校低学年児童受入事業の利用は、1・2年生が6名で延べ42日間、保育所に併設している地域子育て支援センターの利用は、延べ53組で122人の親子の利用となっております。

放課後児童健全育成委託事業の学童保育所「ななかまど」は、現在、小学1年生2名、2年生6名、3年生1名、4年生1名、5年生3名の計13名の入所となっております。

また、子ども・子育て支援新制度の施設型幼稚園に移行した、長万部マリア幼稚園の今年度の入園児童数は、利用定員60名に対し42名の入園となっております。

次に、地域会館関係について申し上げます。

老朽化した国縫振興会館と国縫消防分団機械器具置場の機能を併せ持つ施設としての、国縫振興会館等建替工事につきましては、11月30日の工期で施工中であります。

国縫振興会館の敷地内に設置する遊具・ベンチにつきましては、国縫自治会がコミュニティ助成事業として実施するため、この補助金について本定例会に補正予算を提案いたしております。

南栄町老人憩の家屋根修繕工事は、7月13日の工期で施工中であります。

次に、生活環境関係について申し上げます。

平成29年度の本町のゴミ収集総量は、1,994トンで、前年度と比較して48トンの減となっております。

また、渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ゴミの量は、1,673トンで、前年度と比較し2トンほど減少いたしました。

ゴミ減量化の一環としては、小型家電は役場内に、廃食用油は各会館等に無料回収ボックスを設置し、衣類については各地域等へ年2回の巡回無料回収と役場内担当窓口での随時無料回収を行っております。

今後もゴミの減量には、町民一人ひとりの意識と実行が欠かせないため、ゴミの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

次に、海岸漂着物対策について申し上げます。

昨年回収した静狩地区及び旭浜地区の海岸漂着物の処理と、本年度実施予定の静狩地区・旭浜地区・長万部地区の海岸漂着物の回収・処理につきましては、北海道の補助事業を活用して実施することから、本事業に係る費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物であります牧草は、春先の高温多照により生育は順調に経過しており、5月15日現在の作況状況では、生育は平年より早く推移しております。また、サイレージ用とうもろこしは、播種作業が平年並に進んでいる状況となっております。

牧野事業では、足腰の強い優良な後継牛の育成や生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場の運営事業を行っておりますが、平成28年度から牛ウイルス性下痢の入牧前検査後に入牧を実施しており、牧場内での感染防止に努めております。

入牧状況につきましては、町内酪農家の飼育牛は、4月27日に共立牧場へ195頭、5月7日に蕨岱牧場へ88頭を入牧しました。

また、共立牧場は、入牧頭数に余裕があるため、今年度も豊浦町及び洞爺湖町の酪農家の飼育牛の預託を受入れ、5月17日に113頭の入牧が終了し、合計396頭が入牧しております。

生乳生産量は、1月から4月まで3,232トン、乳代は2億9,685万円となり、前年に比較し87トンの減となり、乳代では261万円の減となっております。

黒毛和牛の1月から4月までの販売頭数は86頭、販売金額は6,037万円となり、前年に比較し、販売頭数で8頭の減となり、販売金額では1,156万円の減となっております。

次に、林業関係について申し上げます。

森林環境保全整備事業の環境林整備事業で実施する共立地区の地拵・植栽事業3ヘクタールは、4月27日に着工し、5月31日に完成しております。

緑化推進では、今年度も引き続きNPO法人長万部町緑と樹を愛する会からエゾヤマザクラの苗木100本の寄贈があり、4月29日に同法人主催の植樹祭で、町民約170人の参加のもと富野地区の町有地に植樹が行われました。

次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。

有害鳥獣駆除対策では、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施しております。

また、ヒグマや近年個体数が急増しているエゾシカが、林業や農業へ被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、今年度も引き続き、鳥獣被害防止対策事業を同協議会に委託し、ハンターによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

今後も関係機関と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、人畜被害を防止するため適切な処置を実施してまいります。

次に、漁業関係について申し上げます。

基幹産業である平成29年度のホタテ貝養殖漁業生産量は、成育不良や自然災害による養殖施設が被害を受けたことにより、10,022トン

となり、前年度に比較し585トンの減で、生産額では29億9,409万円となり、前年度と比較し12億5,671万円の減となっております。

また、EU向けホタテ貝出荷は442トン、生産額では1億3,795万円となっております。

渡島北部地区水産技術普及指導所が、本年2月に長万部町海域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約66%、変形及び欠殻貝が約25%、へい死等の死貝が約9%となっており、例年と比較し外部異常や斃死率が高くなっておりますので、引き続き関係機関と連携し、生育状況を注視してまいります。

また、近年、全国的に不漁が続く秋サケ漁の平成29年度の漁獲量は約386トンで、前年度に比較し約140トン減少いたしましたが、単価上昇により、漁獲額は3億3,084万円となり、6,949万円の増となっております。

次に、商工観光労政関係について申し上げます。

中小企業を取り巻く環境は、緩やかに改善しているところでありますが、本年度も事業経営のさらなる安定を図るため、中小企業特別融資資金の貸付けを関係機関と連携し実施しております。

観光振興では、新たな観光資源の発掘・情報発信を目指すとともに、長万部町、八雲町、今金町、せたな町の北渡島檜山4町地域による広域連携事業を中心とした活動・取り組みを一層強化してまいります。

また、長万部観光協会では、JR長万部駅構内に設置されております観光案内所「インフォまんべ」を拠点に、町の観光情報を発信するとともに、道内外での各種観光イベントにも積極的に参加し、観光客の誘致に努めております。さらに町を訪れる多くの観光客のみなさんへ長万部温泉や二股ラジウム温泉、飲食店の紹介をはじめ、町内の観光情報を提供しております。昨年度から特産品売り場が拡大され、観光客のみなさんの利便性の向上を目指しております。

本町の経済活性化の一環であります合宿等誘致事業は、ゴールデンウィーク期間の合宿等も順調に推移しており、今後とも関係機関と十分な協議を進め、合宿誘致を実施してまいります。

新規学卒者の就職状況は、緩やかに回復した景気の安定と人手不足などを受けた企業の採用意欲の向上等により改善され、地元高校の3月卒業生の就職率は100%と、前年度に続き安定を保っております。

次に、建設関係について申し上げます。

建築事業では、町営住宅シルバーハウジング緊急通報システム更新実施設計業務委託が、7月31日までの期限で実施中であります。これは、15年経過して老朽化している緊急通報システムの機器類を含めた更新のための実施設計を行うものであります。

また、町営住宅中部団地非常灯交換工事を6月22日までの工期で、同じく町営住宅中部団地の安全柵修理工事を8月31日までの工期で施工中であります。

その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事につきましては、計画的に実施しております。

土木事業では、今年度実施予定の町道本町一号線道路改良工事に係る騒音・振動がもたらす影響の有無を把握するため、周辺家屋に対して事業損失防止調査を実施しております。さらに、電柱等移設作業を実施中であり、これらの移設が完了した後に、道路改良工事を発注する予定であります。

また、国の社会資本整備総合交付金事業を活用して実施する、長万部中央跨線橋修繕調査設計業務を平成31年2月28日までの委託期間で実施中であります。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事を11月16日までの工期で発注しております。また、道路補修用機械の購入につきましては、4月11日に購入契約を締結し、4月23日に納入されております。

その他、町道の側溝補修等については、計画的に実施しております。

公園関係では、あやめ公園は4月13日に、長万部公園は4月27日に、それぞれオープンし、パークゴルフやキャンプなど、町内外の多くの方に利用されております。

その他、公園管理用乗用芝刈機は4月16日に購入契約を締結し、5月7日に納入されております。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

し尿・浄化槽汚泥を下水道施設で受入れて処理する汚水処理施設共同整備事業のM I C S棟建設工事につきましては、第2回町議会臨時会での建設工事委託に関する協定締結の議決をいただきましたので、日本下水道事業団との協定が成立し、完成期限を平成32年3月31日までとした本工事を着工しております。

次に、ガス事業について申し上げます。

ガス本支管改良工事の、本町1・3号線工区は7月30日まで、中山大通線工区及び北3号線工区は10月31日までの工期で、それぞれの工事を順調に施工中であります。

次に、病院事業について申し上げます。

平成28年度に新公立病院改革プランを策定し、病院経営の改善に努めておりますが、国や道の進める医療構想に沿った形となる病院事業を目指すため、また、町内唯一の病院としてのあるべき姿を考えるために、協議会を設置し、将来的な経営形態や病院機能、建物等についての検討を重ねることといたしました。

厳しい経営状態が続いておりますが、今後も地域に根ざした信頼される町立病院を目指し、健全経営に努めてまいります。

次に、教育関係について申し上げます。

長万部高等学校制服購入費補助は、新入学生の保護者29人から申請があり、141万3,719円を4月27日に委任払いにより制服納入業者に支出しております。

長万部高等学校通学費補助は、国縫・中ノ沢・黒松内町及び森町の通学者14人から申請があり、148万3,420円の支給決定をしております。

また、国公立大学及び東京理科大学生に対する奨学金の給付や貸付けは、国公立大学生5名から申請があり、奨学金運営委員会を開催し給付等の決定をしております。

シャクシャイン古戦場跡碑につきましては、平成28年度に建立し10月28日に除幕式を実施しておりますが、この度、新ひだかアイヌ協会において新しいシャクシャイン像のデザインが決定されましたので、本町の碑に埋め込みするデザインについてもこれを採用し、肖像画埋め込みに係る費用について本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、消防関係について申し上げます。

今年5月末現在の火災件数は2件で、うち、建物火災が1件、野火が1件発生しております。

救急件数は144件、搬送人員は138人で、急病が79件、交通事故が5件、一般負傷が12件、その他転院搬送などが48件で、うち、ドクターヘリによる搬送が4件となっております。

火災予防の事業では、春の全道火災予防運動期間中に、女性消防団員による街頭啓発や事業所団員による防火広報、ホテルや大型店舗など不特定多数の方が出入りする施設の防火査察を実施し、高齢者世帯における防火指導においては、住宅用火災警報器の適正設置や早めの更新を呼びかけました。

大型水槽付消防車の整備事業につきましては、3月19日に本車両が納車となり、4月1日付けで緊急消防援助隊に登録されるとともに運用を開始しております。今後、大規模な災害等により派遣要請があった場合は、緊急消防援助隊特殊装備小隊の大型水槽車として、被災地等へも出動いたします。

消防団の状況につきましては、4月1日付けで2名が入団され、現在の団員数は、基本団員が111名、女性団員が19名、機能別団員が20名で、条例定数の150人にまで充足いたしております。

消防団員の安全装備品整備事業につきましては、安全靴111足を8月31日の納期で契約し発注いたしております。

終わりに、本定例会に提案した議案は、専決処分の承認、条例の一部改正及び一般会計補正予算の計4件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。